

今回は香川県高松市にお住いの女性(59歳)からのご相談です。

### 質問

85歳になる母の自宅での看取りについてアドバイスをいただきたいのですが。

母は、3年前に脳梗塞による左半身不随のため要介護5の寝たきりになり、5カ月の入院を経て老健施設へ入所しましたが、半年前から口から食事をとることができなくなり、病院の介護病棟へ移りました。現在、医師の勧めで経鼻チューブで栄養補給しています。入院時には意識がはつきりしていた母ですが、最近では話しかけても単語の発語はあるものの、ほとんど無表情のままで。医師からは、意識の回復の見込みは難しいとの説明がありました。そこで、以前から聞いていた母の希望を基に、家族(夫と二人の娘)で話し合った結果、なるべく早い時期に自宅へ連れて帰り、チューブを外し、自宅で看取るという方向で意見がまとまりました。病院にも家族の意向を伝え、了解を得ております。自宅で介護するにあたりどの程度のサービスが受けられるので

# 在宅医療は健幸医療

長尾 和宏

医療法人社団裕和会・理事長  
長尾クリニック・院長

### お答えします



しようか。また、どのような準備や覚悟が必要か、教えていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

そもそも「経鼻チューブ」は苦しいです。ね。口の奥に常に管が通つていて気持ち悪いので食べられる人でも食べられなくなります。もし自分自身が鼻から管を入れられたままなら、食べられないどころか死にたいと思うかもしれません。こんな方法に代わって「胃ろう」という人工栄養法が開発されたのが25年前のことです。しかし昨今の報道で「胃ろう=悪」という誤った認識が広がった結果、胃ろうを嫌がる人や家族が増えてしまいました。その結果、現在、胃ろう栄養の人は減少傾向ですが、経鼻チューブ栄養の人は再び増加傾向で、複雑な気持ちです。貴方のお母さまもその一人かと思いました。

臨床現場では一時的に経鼻チューブ栄養を用いることは日常的にあります。しかし半年以上も経鼻チューブ栄養を続けることは私的には考えられません。だから主治医

まずは本人を含めて関係者一同が集まって、今後のことを腹を割つて話し合つておきましょう。それを「人生会議」と呼びます。

がこれまで胃ろう造設を勧めなかつた理由を知りたいところです。いすれにせよ経鼻

チューブ栄養を半年以上続けて口から一切食べさせなかつたら、お母さまのように発語が少なくなり表情は消えるのは当たり前の経過です。最初から予想されたコースをたどつてているだけです。

「死んでもいいから自宅に帰つて管を外してあげたい」と願う家族がこれまで30人以上、相談に来られました。実際に家に帰つてきた約20人のうち3カ月以内に亡くなつたのは3人でした。残りは口から食べだけで、死ぬどころかどんどん元気になつたのです。「家に帰つたらすぐに死ぬ」と言われて病院を退院した後、3年以上、自宅で口から食べて生きた人が数名います。だから

「自宅に帰る=看取り」ではないことを最初にアドバイスしておきます。

ことを腹を割つて話し合つておきましょう。それを「人生会議」と呼びます。死を覚悟して家に帰ること、管を外し口から食べることにトライするという選択について、みんなが納得、満足するか、しつかり確認をしあいましょう。

「そんな医師は見つからない」「どうやって探せばいいのか分からない」というならば、地域のケアマネさんに探してもらうといいでしょう。評判のいいケアマネさんに相談して、貴方の願いに理解がある医師を紹介してもらうという手もあります。いすれにせよ、自宅に帰るためには最低限、介護認定と介護ベッドが必要です。お母さまの状態は要介護5です。在宅主治医と訪問看護師以外に、もし食べられる可能性があるようなら、嚥下リハビリのための言語聴覚士や食材の工夫のため訪問薬剤師や訪問栄養士のお世話をされることも心づもりしておきましょう。なお医師以外はすべて介護保険制度下です。

もし私が主治医ならば、家に帰つてすぐには管を抜きます。驚かなくてもいいです。もし考えが変わつたらまた入れたらいだ

# きらめき プラス

Vol.72 弥生



最後の証言 戦

遠藤美幸

私の社会貢献  
笑顔と笑顔で夢を実現  
西田美和

けですから、抜くことに私は抵抗はありません。管を抜いて少しお喋りして話ができるかどうか、どんな発音であるのかで、口から食べられる可能性を探ります。歯科医や耳鼻科医による嚥下内視鏡の所見は少しは参考にしますが、絶対的なものではありません。これまでに嚥下内視鏡で、「口から食べられる可能性はゼロです」と宣告されても家に帰った日から100%食べている人を何人も経験しているので、たいへん失礼ながら「絶対、○○できません」という宣告は信用していません。

ある研究によると、そのようにして食べさせた結果、約3分の2は口から食べられたそうです。つまり日本に何十万人もいる胃ろうや経鼻チューブ栄養患者さんの3人に2人は、口から食べられるのに食べさせてもらえないままあの世に旅立つていても、もつとはつきり言うならば、これは「誤診」です。この「誤診」の多さについては拙書「胃ろうという選択、しない選択」(セブン&アイ出版社)に詳しく述べましたので参考にしてください。この本の中で私は「ハッピーな胃ろう、アンハッピーな

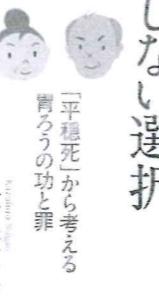
胃ろう」という表現をしています。貴方のお母さまは経鼻チューブ栄養で半年以上経過しているため既に食べることを忘れているかもしれません。私が述べたとおりにならない可能性があります。しかし管を抜いて氷のかけらを口に入れてみてください。多少時間がかかるでも「ゴクッ」と嚥下できれば少しでも食べられる可能性があります。人間には生きようとする生命力が備わっていますから、余力が残つていれば少

胃ろう」の表現をしていました。貴方のお母さまは経鼻チューブ栄養で半年以上経過しているため既に食べることを忘れているかもしれません。私が述べたとおりにならない可能性があります。しかし管を抜いて氷のかけらを口に入れてみてください。多少時間がかかるでも「ゴクッ」と嚥下できれば少しでも食べられる可能性があります。人間には生きようとする生命力が備わっていますから、余力が残つていれば少

しづつでも食べられる可能性があります。万一、一切食べられなければ7~10日間で死にます。しかし1日2000mlでも口から入るならば、すぐには死にません。つい先日、そのような症例がありました。結局、2カ月後に亡くなりました。しかしこ家族はお正月と一緒に過ごせて、お屠蘇も飲まれたので大満足でした。頑張って、まずは理解のある医師を探してアドバイスを受けください。

著書紹介

## 胃ろうという選択、しない選択



長尾和宏

著者／編集：長尾和宏  
出版社：セブン&アイ出版  
価格：1300円+税

終末期のお年寄りたちが直面している胃ろうの現実を、長尾医師が問う。

今、胃ろうの何が問題か?  
そもそも「胃ろう」とは?  
病院はなぜ、胃ろうをすすめるのか?  
「ハッピーな胃ろう」とは?  
「アンハッピーな胃ろう」とは?  
胃ろう生活Q&A 手術、費用、造設後の生活は?  
「胃ろうのすすめ」をことわりたいときは?……ほか。